

災害はいつ来る？

東日本大震災。
水害。台風。

知らない間にいろいろな災害が起こっています。一人の時には考えなくても良かったことが、赤ちゃんがいる家庭ではそうもいきません。

災害が来ても、安全に安心して過ごせることを目標に準備を考えてみませんか。



妊婦さんや赤ちゃんのいる方

1. 家や家具の点検。安全の確保。
2. 寝室・リビングは家族が集まる場所です。大丈夫ですか？
3. 家族で防災について話会うことも大切です。幼稚園・保育園・小学校に行っているとき家族がみんなバラバラの時どうしましょう。避難ルート、災害伝言ダイヤルの利用。
4. 揺れがひどいとき、どこに捕まったら安全を確保する？
5. 近くに住んでいる方々と協力し合える間柄になっていると安心。

6. ミルクやオムツなどの消耗品、備蓄していますか？
 7. 自分自身を守る、防災用品
- * 自分の身を守るためのもの
 - * 健康維持のためのもの
 - * 情報収集のためのもの
 - * 生活のためのもの

季節によって、必要なものは変わってきます。その都度、見直すことも大事ですね。

お子様の命は、大人が守らなくては。

母子健康手帳

手帳は赤ちゃんとお母さんの状態が記録されています。どんなときでも持ち歩くようにしておくと安心です。



入院中は？

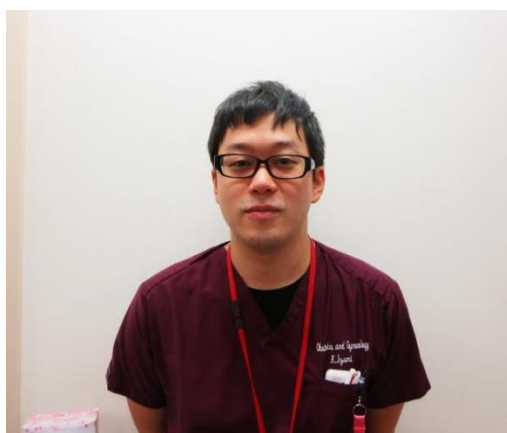
赤ちゃんと一緒に逃げるために、赤ちゃんのベッドの下にスリングが設置してあります。ご存じでしたか？

そして、かかとのある履き物は非常時に動きやすいし安全です。

貴重品のみ持参して、スタッフの誘導にしたがってください。

スタッフ紹介

10月から赴任された医師を紹介致します。



名前 泉 顕治 医師

出身・・・神奈川県
 自分の好きなところ・・・明るいと
 当院の第一印象・・・綺麗な病院だ
 と思いました
 好きな食べ物・・・お寿司
 自己アピール・・・わからないことも
 も多々ありますがよろしくお願いま
 す。那須のおすすめスポットを、教
 えて下さい！

これからたくさんお世話になります。先生よろしくお願ひ致します。



今、産科病棟では・・・

今年になって、お産を取り巻く環境が刻々と変化しています。今まで、何気なく過ごしていた毎日がとても緊張を強いられて、窮屈。そして、不安。

それだけでなく、お産という本当に命がけの大仕事を控えている妊婦さん達は大変なストレスを抱えていることでしょう。

立ち会い出産も、入院中の面会も出来ない、がんばって産んだ赤ちゃんを抱っこしてもう一つ出来ない。

出来ないことばかりが増えてる...

でも、お腹の中の赤ちゃんはしっかりとお母さんと共に成長しています。

お腹の中から、家族の声を聞いています。自分が生まれ出る世界が、きつと楽しいところなんだと感じています。

産まれたばかりの赤ちゃん。

しっかりとききよるききよる周りを見ています。お母さんのおいを、声を、暖かさを全身で感じています。

「産まれたよー！」「パパにそっくり。」「助産師さん達にいてもらえて良かった。」「たくさん写真ありがとう。」「ごさいました。」「私たちスタッフが出来ることは限られていますが、大切な出産の時を一緒に過ごす今、心から最高の贈り物が出来るようにと思っております。

あと少し、みんなで頑張りましょう。